

研究にご協力頂ける方の募集

日本赤十字広島看護大学大学院看護学研究科共同看護学専攻博士課程に在籍しております篠原謙太と申します。今回、私は、「シャント狭窄を早期発見するための多職種で活用するシャント観察・アセスメントツールの有用性の検討」というテーマで研究に取り組んでおります。本研究では、多職種が共通認識のもとで活用するシャント狭窄を早期発見するためのシャント観察・アセスメントツールの有用性を検証することを目的としております。

つきましては、以下の方を研究対象者として以下の要件に該当する方を募集しております (5～9 施設)。

なお、「シャント狭窄を早期発見するための多職種によるシャント観察の実態」「シャント狭窄を早期発見するための多職種で活用するシャント観察・アセスメントツールの作成」の研究に協力いただいていない方が対象となります。

《募集している方の要件》

1 施設当たり下記 (1) ～ (4) の要件に該当する医療従事者の方が揃って在籍され、研究協力の同意が取得できた施設が対象となります。

(1) 慢性維持血液透析療法に従事する常勤の医療従事者

医師：1 名、看護師：1 名、臨床工学技士 1 名

※ 看護師の方の条件：透析従事経験年数 3 年以上、腎不全透析に関する資格を有さない

(2) 慢性疾患看護専門看護師 (サブスペシャリティ；腎臓病または、透析)、腎不全看護認定看護師、透析看護認定看護師、慢性腎臓病療養指導看護師のいずれかの資格を取得している常勤の看護師で、慢性維持血液透析患者への看護経験が 5 年以上を有する者：1 名

(3) 慢性維持血液透析療法に従事する常勤の看護師で透析看護経験年数が 3 年未満の者：1 名 ※看護師経験年数は問いません。

(4) 超音波エコー実施者として、血管エコーの実務経験年数が 3 年以上の臨床検査技師もしくは臨床工学技士 1 名 ※ 上記 (1) の臨床工学技士とは異なる方

誠に恐縮ですが、上記の要件を満たす医療従事者の方が揃って在籍されていない、または同意の取得が難しい場合には、研究へのご協力を見送らせていただくことがあります。加えて、対象者数が目標数に達した際にも、同様にお断りをする可能性がございますことを、あらかじめご了承ください。

また、看護師の方には、以下のことをお願いしたく存じます。

(1) 上記の要件を満たす医師、看護師、臨床工学技士、透析看護経験年数が 3 年未満の看護師、およびエコー実施者をご紹介します。

(2) シャント観察を受ける血液透析患者の候補者の抽出と研究資料の配布、および、基本属性のデータ収集にご協力ください。

(3) 医療従事者の方の同意取得前に SOAT 活用に向けた説明と観察期間終了後に対面で SOAT の活用についての聞き取りを実施させていただきますので、その説明を行う時間と場所の調整をお願い申し上げます。

皆様のご施設に勤務されている医師、看護師、臨床工学技士の方が上記の要件に該当され、研究に参加いただける方、もしくは、興味があり詳細を知りたい方は、研究者の下記メールアドレスまでご連絡いただきますようお願いいたします。

研究者:

日本赤十字広島看護大学大学院看護学研究科共同看護学専攻博士課程

篠原 謙太 (しのはら けんた)

Email: ks11194@jrchn.ac.jp